



### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容

##### ① 近隣校との交流活動

市内の小学校や中学校との交流活動を実施している。特に廊下でつながっている名木野小学校との交流は、運動会、避難訓練などの行事交流や昼休みを利用した日常的な交流に取り組んでいる。また、今年度から居住地校交流を積極的に取り組み、市内にある児童生徒の居住地校との交流を通して自分の地域の子もたちとの交流も小学部を中心に盛んに行われた。

5月 : 名木野小学校との運動会 (小・中)

南中学校とのプランター交流 (中)

9月～3月 : 今町小学校、葛巻小学校との居住地校交流 (小)

居住地校の児童生徒と音楽、体育、校外学習に参加した。

10月 : 南中学校いじめ防止集会参加 (中)

田井小学生を迎えてのハロウィン集会 (小)

12月 : 県立月ヶ岡特別支援学校との交流 (高)

##### ② ユネスコスクール校同士の作品交流

同じくユネスコスクールに加入している、福岡県大牟田特別支援学校と児童生徒の活動の様子の写真や作品を交換し交流を行っている。

##### ③ 障がいのある子の社会的自立を支えるためのネットワーク作り

特別支援学校の児童生徒は、卒業後自立し、地域社会活躍することを大きな目標としている。社会自立に向けての実習の場、地域資源を利用した子どもたちの学習の場などそれぞれの活躍の場や卒業後の生活を踏まえ地域、学校、職場、福祉等と社会自立を支えるためのネットワーク作りを行っている。

6月 : 前期職場実習 (高)

: 市内特別支援学級、特別支援学校親子交流会

7月 : 宿泊学習 (小、中、高)

10月 : 障がいのある子の社会的自立を支えるためのネットワーク会議

11月 : 後期職場実習 (高)

##### ④ 集会活動での異年齢交流

全校で行われる集会活動では、小学部から高等部まで異年齢の児童生徒と一緒に活動し、関わっている。高等部生徒を中心にリーダーとなり集会を運営していく。小学生は高等部の理想的なモデルを模倣しながら積極的に活動している。中学部高等部の生徒は小学部の生徒を助けたり頼りにされることで、自己有用感が向上している。

##### ⑤ 市内のエコ活動への参加 (高 : 花の種配り、フラワーロードのごみひろい)

ネーブル見附など出かけて緑の募金運動に参加し、地域の皆さんと関

わりながら木の苗と花の種を配布した。また、よく利用するフラワーロードにでかけゴミ拾いを行い身近な環境について意識付けを行った。

⑥ 防災教育について

当校は平屋のため水害を想定した避難訓練では廊下でつながっている名木野小学校の2階に避難した。実際に7.13水害を体験している児童生徒もおり、緊張した表情で参加していた。また特別支援学校の児童生徒の実態に応じ、児童生徒が理解し自分のできることを考え動けるように視覚的に教材を提示したり、防災カルタなどを使ったりしながら防災について働き掛けた。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)  
時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ( )